指導と評価の年間計画（シラバス）

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	英語表現	2	第３学年	Perspective English Expression II Write to the Point トピック別英作文 255 題

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

３年生では、自分の考えを話したり書いたりする力に加えて、文法・語法の知識、語彙・表現力、論理的な文章の構成力等を元に大学入試問題にも意識を向けていくことになります。その様な高度な英語力をつけることで、グローバルリーダーとして活躍するスキルの１つを身に付けて欲しいと思います。

この授業で気をつけてほしいことは、自分で考えた「文法的に間違っているとは言えないが変な英語」に固執しないことです。授業では、身につけて使いこなせるように使ってほしい適切で自然な表現を紹介します。ただ、それを暗記しさえすればよいと考えて予習をしない、つまり自分の頭で一度も考えないということがないようにしてください。良質の英語をインプットしつつ、それを次の機会に適切にアウトプットする練習をどんどんしていきましょう。

2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第３学年】履修科目：英語理解（４単位）　英語表現（２単位）

主な教材：上記科目の教科書・副読本、内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
①ディスカッションやディベートで、相手の主張をまとめ、反論することができる。 ②論理展開が明確な説得力のあるプレゼンテーションができる。	・英語理解 プレゼンテーション、インタビューテスト、スピーチ 英語表現 スピーチ等	①英文を読み、また話された英文を聞いて、明確な論理展開の文章で要約や自分の意見を書くことができる。 ②辞書に頼りすぎることなく、自然な英語に訳すことができる。	・英語理解 エッセイや定期考査等 英語表現 小テストや定期考査等	①自然な速さで話されるニュースや講義を聞いて、メモを取りながら全体の概要を理解することができる。 ②センター試験のリスニングを細部まで聞くことができる。	・英語理解 リスニングテスト	①700 語以上の評論文を一定時間内に読み、全体の趣旨を理解することができる。 ②大学入試問題に挑むために精読できる。 ③辞書に頼りすぎることなく、自然な日本語に訳すことができる。	・英語理解 小テストや定期考査等

3 学習評価（評価の観点と実施方法）

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	英語表現の能力	英語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。		英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Perspective English Expression Ⅱ Write to the Point Lesson 1～9 (9時間)	・エッセーライティングについて学ぶ。 ・自由英作文の形式に慣れる ・日本語話者が誤りがちな基本的な文法項目を復習しつつ、やさしい英作文が確実に書けるようにする。 ・文法・語法問題の復習をする。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークで自分が書いたエッセイや自由英作文の原稿を見ながら言いたいことを伝える。	・英文の展開パターンに沿って議論を組み立てる。 ・文法項目を正しく使えるか気を付ける。	・展開のパターンに沿った英文が書けるか。 ・文法的にミスのない文章が書けるか。	・ペア・ワークを観察する。
		「英語表現の能力」			
		・日本語話者が間違いがちな基本的文法項目を復習する。 ・学んだ文法項目を活かして、日本語を英語に直す練習をする。	・和文英訳の問題を解く。 ・誤りがちな部分を確認しつつ、英語らしい文章を身に着ける。 ・文法・語法問題を解く。	・和文英訳問題をどの程度正確に書くことができるか。 ・文法・語法の知識をどの程度身に着けられているか。	・定期考査において知識が身についているか判断する。
		「英語理解の能力」			
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・コロケーションなど英語には慣例的に決まっている表現が少なくないことを理解する。	・コロケーションを意識して例文を覚える。 ・英和辞典の例文を十分活用する。	・英文を書く際にコロケーションを意識できるか。 ・実際にコロケーションを身に着けられるか。	・定期考査において知識が身についているか判断する。
Perspective English Expression Ⅱ Write to the Point Lesson 10～18 (9時間)	・基本的な文法項目を復習しながら、自然な日本語の表現をどうしたら英語に移し替えることができるか学ぶ。 ・ケアレスミスをしないよう注意しながら自由英作文演習を行う。 ・文法・語法問題の復習をする。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークで自分が書いた自由英作文問題の解答の原稿を見ながら自分の考えを伝える。	・英文の展開パターンに沿って議論を組み立てる。 ・文法項目を正しく使えるか気を付ける。	・展開のパターンに沿った英文が書けるか。 ・文法的にミスのない文章が書けるか。	・ペア・ワークを観察する。
		「英語表現の能力」			
		・日本語話者が間違いがちな基本的文法項目を復習する。 ・学んだ文法項目を活かして、日本語を英語に直す練習をする。	・和文英訳の問題を解く。 ・誤りがちな部分を確認しつつ、英語らしい文章を身に着ける。 ・アイデアを出して日本語を英語らしい表現に変える。 ・文法・語法問題を解く。	・和文英訳問題をどの程度正確に書くことができるか。 ・文法・語法の知識をどの程度身に着けられているか。	・定期考査において知識が身についているか判断する。 。
		「英語理解の能力」			
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・コロケーションなど英語には慣例的に決まっている表現が少なくないことを理解する。	・コロケーションを意識して例文を覚える。 ・英和辞典の例文を十分活用する。	・英文を書く際にコロケーションを意識できるか。 ・実際にコロケーションを身に着けられるか。	・定期考査において知識が身についているか判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
トピック別 英作文 255 題 1 章～9 章 (14 時間)	・ケアレスミスをしないよう注意しながら自由英作文演習を行う。 ・基本的な文法項目を復習しながら、自然な日本語の表現をどうしたら英語に移し替えることができるか学ぶ。 ・文法・語法問題の演習を行う。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークで自分が書いた自由英作文問題の解答の原稿を見ながら自分の考えを伝える。	・英文の展開パターンに沿い議論を組立てる。 ・文法項目を正しく使えるか気を付ける。 ・ケアレスミスに注意しつつ多様な表現を使う。	・展開のパターンに沿った英文が書けるか。 ・文法的にミスのない文章が書けるか。 ・単調な文になっていないか。	・ペア・ワークを観察する。。
		「英語表現の能力」			
		・日本語話者が間違いがちな基本的文法項目を復習する。 ・学んだ文法項目を活かして、日本語を英語に直す練習をする。	・和文英訳の問題を解く。 ・英語らしい文章を書く。 ・アイデアを出して日本語を英語らしい表現に変える。 ・文法・語法問題を解く。	・和文の意味を汲み取り適切な英語の表現に変えられているか。 ・文法・語法の知識をどの程度身に着けられているか。	・定期考査において知識が身についているか判断する。
		「英語理解の能力」			
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・コロケーションなど英語には慣例的に決まっている表現が少なくないことを理解する。	・コロケーションを意識して例文を覚える。 ・英和辞典の例文を十分活用する。	・英文を書く際にコロケーションを意識できるか。 ・実際にコロケーションを身に着けられるか。	・定期考査において知識が身についているか判断する。
トピック別 英作文 255 題 10 章～17 章 (20 時間)	・ケアレスミスをしないよう注意しながらエッセーライティングをする。 ・文法的なミスをしないように注意しながら、日本語の多様な表現を平易な英語に変えられるよう、練習を重ねる。 ・文法・語法問題の演習を行う。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークで自分が書いた自由英作文問題の解答の原稿を見ながら自分の考えを伝える。	・英文の展開パターンに沿い議論を組立てる。 ・文法項目を正しく使えるか気を付ける。 ・ケアレスミスに注意しつつつつ多様な表現を使う。	・展開のパターンに沿った英文が書けるか。 ・文法的にミスのない文章が書けるか。 ・単調な文になっていないか。	・ペアワークを観察する。
		「英語表現の能力」			
		・日本語話者が間違いがちな基本的文法項目を復習する。 ・学んだ文法項目を活かして、日本語を英語に直す練習をする。	・和文英訳の問題を解く。 ・英語らしい文章を書く。 ・アイデアを出して日本語を英語らしい表現に変える。 ・ケアレスミスに注意する。 ・文法・語法問題を解く。	・和文の意味を汲み取り適切な英語の表現に変えられているか。 ・文法・語法の知識をどの程度身に着けられているか。	・定期考査において知識が身についているか判断する。
		「英語理解の能力」			
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・コロケーションなど英語には慣例的に決まっている表現が少なくないことを理解する。	・コロケーションを意識して例文を覚える。 ・英和辞典の例文を十分活用する。	・英文を書く際にコロケーションを意識できるか。 ・実際にコロケーションを身に着けられるか。	・定期考査において知識が身についているか判断する。